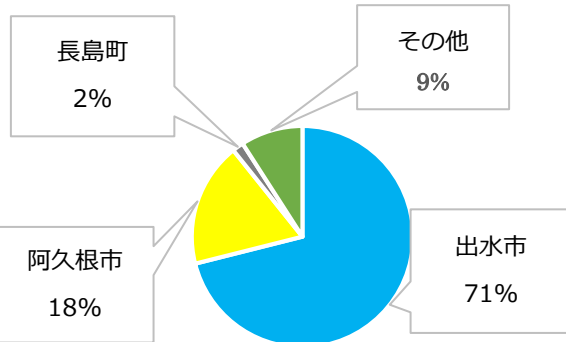


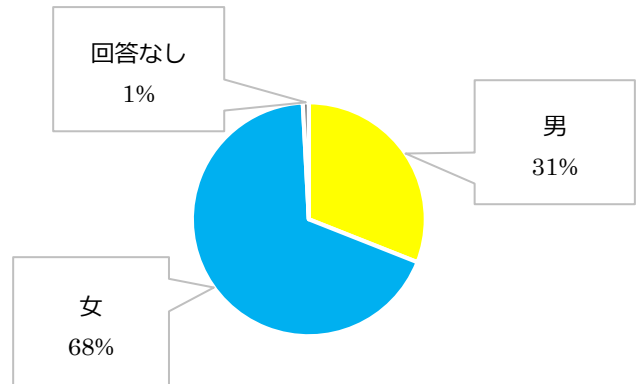
平成 30 年 11 月 10 日 出水市文化講演会 アンケート

参加者総数 327 名（裏方 17 名含む）アンケート回答数 242 名：アンケート回答率 78.1%

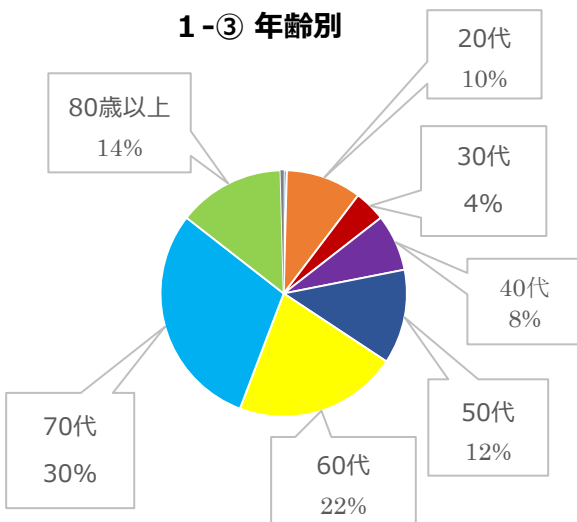
1-① 居住地



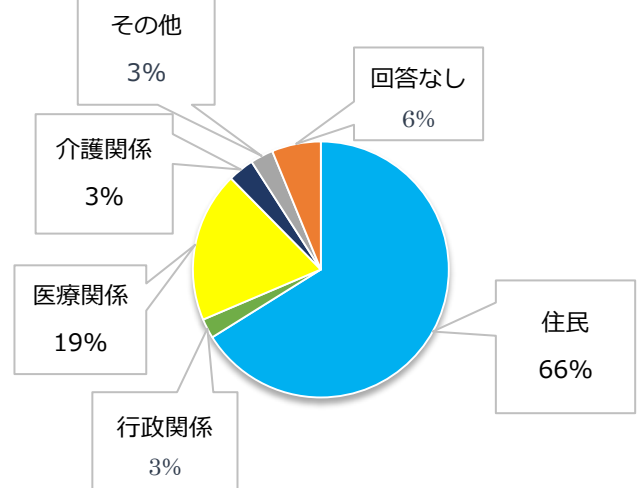
1-② 性別



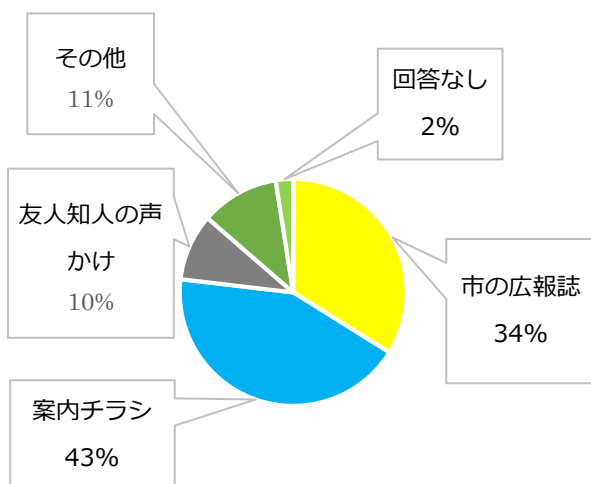
1-③ 年齢別



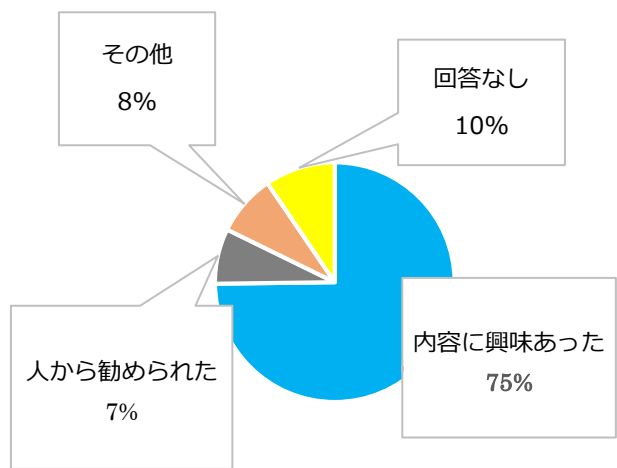
1-④ 立場

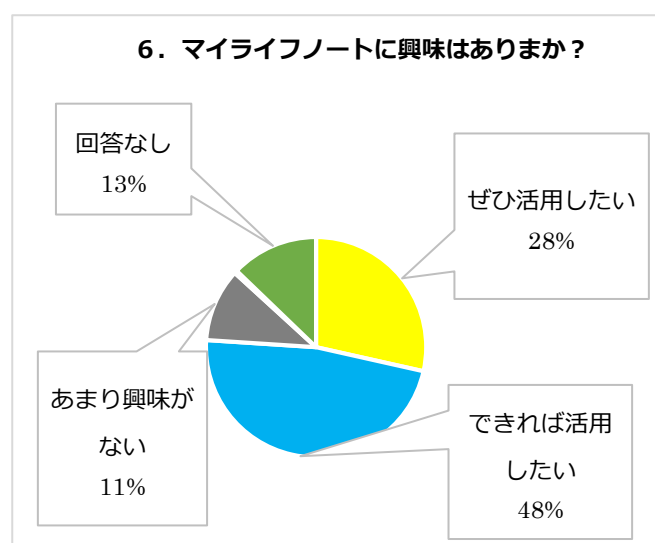
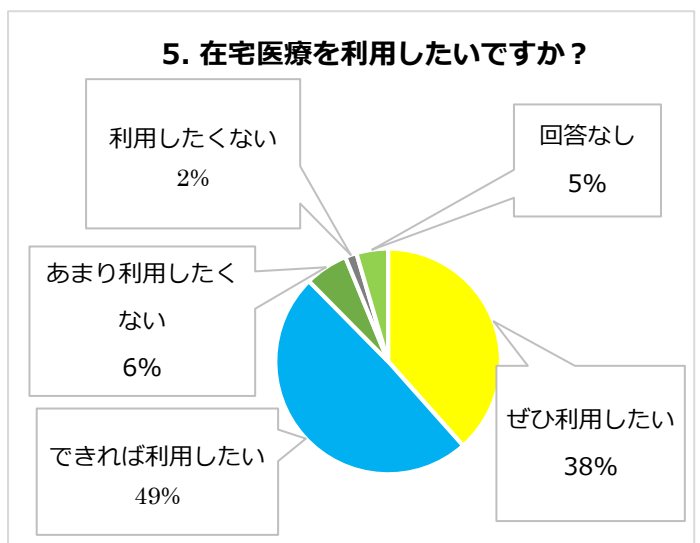
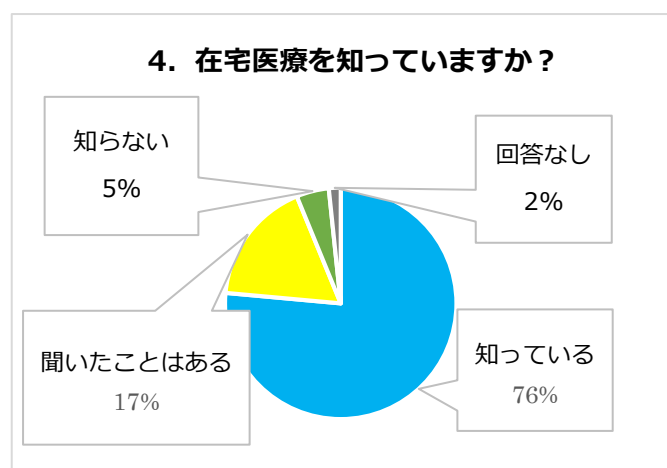
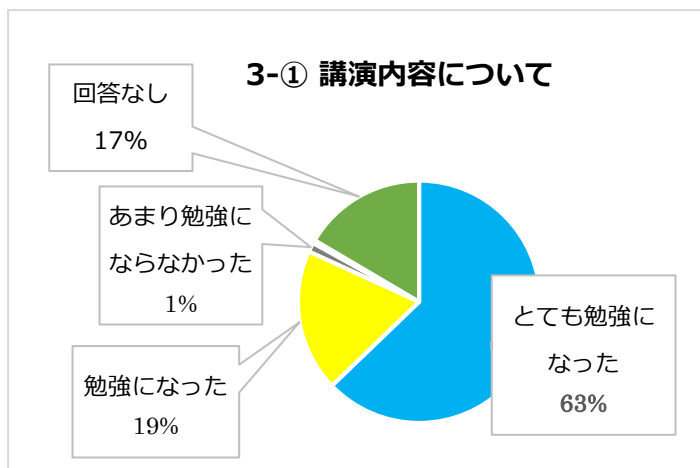


2-① 知ったきっかけ



2-② 参加動機





3 - (2) 第一部、第二部の講演会を公聴してのご感想をお聞かせ下さい。

- ・高齢の母と二人暮らしなので、身体の異変に気づいて対処できる様に、日々の生活を大事にしたい。
- ・様々な知識を知る事が出来勉強になった。とても役立つ、意義のある講演会だった。(他 37 件)
- ・脳とがんの、自分達にも起こる可能性がある話を聞き学びになった。
- ・脳血管疾患予防や手術、治療、自信で出来る事など詳しく学ぶ事が出来た。笑いや涙もあって良い講演会だった。
- ・健康への認識を改めて考えさせられた。生きる姿勢を考えさせられた。(他 5 件)
- ・自分の経験、母親の経験から、いかに気持ちが必要かを感じた。
- ・血栓症でワーファリンを服用している。運動不足で今から少しでも体を動かそうと思う。
- ・自分に置き換え、指示された通りに薬を飲む。
- ・第一部では、出水郡医師会を見直した。
- ・広域医療センターを紹介してもらい、2年ほどお世話になっている。阿久根でよかったとつくづく思う。
- ・何事も向き合って、前向きに生きる、大切な時間をもらった。(他 3 件)
- ・気持ちの持ち方で病気は治せる？寿命は延びる事を知らされた。
- ・100年に人生を目一杯楽しむ為、予防できる事は実行し、前を向いて生きていこうと思う。(他 1 件)
- ・内なる力を引き出す事の大切さを学んだ。人の力の神秘的強さ、周囲の人の大切さを知り感動した。(他 1 件)
- ・相談を受ける人を大切にする。
- ・脳の話について、知らないのも怖いけど知りすぎるのも怖い気がする。脳外科の進歩の凄まじさを恐ろしい程感じた。(他 2 件)
- ・自分の心と体の声に耳を傾け、気をつける。

- ・生活習慣の改善、早期発見の大切さを再認識した。予防意識を高め実践する。脳ドックを是非受診したい。(他7件)
- ・講演会が、自分を見つめ直すきっかけになった。
- ・医療に関わる者として、今後の活動に生かしたい。
- ・様々な話を聞き、授業で学んだ知識をさらに深められた。看護師とし大変になる講演会だった。(他3件)
- ・落ち込んだ経験があったので、立ち直った経過を聞いた。その時に役立つかまだ実感として感じられない。
- ・第二部(向井亜紀さんの講演)音が小さく、ほとんど聞こえなかった。講演者とマイクの確認をするべき。(他1件)
- ・第一部の講演で、照明が暗く、スクリーンの文字、図面等がわかりにくかった。
- ・80分は長すぎる。ほとんど聞こえなかった。
- ・有田先生が近くの広域医療センターにいる事は、市民にとって心強い。(他2件)
- ・10年前、有田先生にお世話になった。鹿大で髄膜腫の手術をし、今は元気になり年2回経過観察の診察をし、様子を見ている。先生に救ってもらった。
- ・有田先生の話で、脳は大事な役割をしており、手術によって治癒する事と治る認知症もある事が知れた。(他2件)
- ・有田先生の講演内容は大変解り易く、異常時の対応も取り組み易く感じた。脳疾患及び治療について、正しい最新の知識を得る事が出来た。名医の講演が聞いて良かった素晴らしかった。(他9件)
- ・FAST頭に入れて、対処できるようにしたい。前向きに生きる、過ごす事の大切さがわかった。
- ・寝たきりになりたくないとの再認識した。脳を大切にする。
- ・家族に小さな脳梗塞がある事がわかった。今後の勉強になり宝物になった。本人にも生活習慣、薬などもっと強気で頑張ってもらいたい。その協力をしていきたい。
- ・主人が今年の5月に脳梗塞になり、幸い左手に少し力が入らない程度だった。再発の不安を抱えていた為、興味深々だった。
- ・有田先生は高圧的でなく、色々相談できる人柄がよく伝わった。(以前、高圧的な人がいた)
- ・脳血管疾患の社会復帰率も高くなってきており、医学の進歩を感じた。
- ・祖父がクモ膜下出血で亡くなり、20年が経過。救える命が増えている事を実感した。
- ・再発リスクが10年後5人に1人というデータに驚いた。まずならない様に予防に努めたい。
- ・有田先生の話はこれからの自分自身に大切な事と思った。・癌治療では、気持ちの持ちようが大切なことがわかった。嫌な事は考えない。我慢せず人に頼る。(他2件)
- ・向井さんの考え方は、自分にはない考え方で勉強になった。考え方を教えてくれた。(他1件)
- ・向井さんの講演が素晴らしく感動した。鹿児島話題を交えての講話がとても興味深かった。向井さんが100%鹿児島とは知らず、身近に感じた。向井さんのパワフルさに元気をもらった。(他8件)
- ・今後の日々の生活に生かしたい。向井さんの講演内容をがんの友人へ伝えようと思う。
- ・向井さんの話はなるほど!と納得。心と体が喜ぶ事を毎日やっている。
- ・現在がん闘病中の為、とても励みになった。がんと向き合う気持ち、がん治療に対し前向きになれた(他1件)
- ・自分自信も、乳癌の手術をした。向井さんの話を聞き、前向になり温かい気持ちになれた。明日から前向きに生きていこうと思った。(他3件)
- ・向井さんが話された患者としての、気持ちの持ちようという言葉が身に染みた。(他1件)
- ・頭痛がよくするので高血圧を気にしていた。もう少し話が聞きたかった。子宮頸癌が再発し、治療中の為、楽しいイメージを持ち生きていきたい。
- ・がんを患う事による生活、精神への影響、がんと向き合う人の心理や力について学んだ。あまり深刻がらず、がんと向き合う。(他1件)

3 - (3) 明日から取り組んでみたいことはありますか。

- ・命には限りがある。毎日を精一杯謳歌したい。人生をどう楽しく生きるか、残された時間を楽しみながら笑顔で生きていきたい。生きがいを見つける。人の長所を褒め、くよくよしないで今、生かされている毎日に感謝する。(他 9 件)
- ・朝起きた時や、夜寝る前に声かけをし、コミュニケーションを上手く取り、楽しく二人で暮らしたい。
- ・何事も前向きにとらえ、自分の体に感謝し、1日1日を大切に生きる。(他 5 件)
- ・生活習慣の見直し、予防。運動をする習慣をつける。(他 4 3 件) リハビリに取り組む。
- ・顔、腕、言葉に異常があれば、すぐ病院受診をする。早期発見の大切さを周囲へ伝える。(他 2 件)
- ・人間ドックに今年中に行く。検診、検査を受ける。(他 6 件) 内服薬の服薬を忘れない。(他 1 件)
- ・休肝日を守る。(節酒)(他 1 件)、たばこの量を減らす。(他 1 件)
- ・食事は腹 8 分。週 2~3 回程度ウォーキングで 1 時間程歩く。今よりもっと外へ出て歩きたい。
- ・寝る時は楽しい事を考えながら寝る。感謝しながら眠る。十分な睡眠をとる。(他 5 件)
- ・毎日、血圧を測る。自分自身の健康意欲を上げる。(他 5 件)
- ・現在介護をしており、4 年目。喜んで働く事を心掛ける。
- ・やりたい事をイメージする。やりたい事ノートを作って、胸のスクリーンにいい事を映す。(8 件)
- ・自分自身の事だけでなく、周囲の状況観察にも気を配っていく。
- ・強い心を持たず、弱い心を持つ。(5 年前妻を乳癌で亡くしたから) 人に弱音を聞いてもらう。(他 2 件)
- ・向井さんが言った、「自分の身体と時間を大切に」する。前向きにがん治療に取り組む。
- ・元気で一人暮らしできている事に感謝し、ボランティアを続ける。
- ・FAST を心にとめておく。(他 2 件) 9000 円の潜在能力を出来るだけ使う。

【在宅医療を利用したくない理由】

- ・家族に迷惑をかけたくない。家族への負担が大きい。仕事をしていたりすると、介護との両立が困難。(他 4 件)
- ・精神面、体力面に不安がある。介護に自信が無い。(他 2 件) 在宅介護がうまくいかなかった場合家族崩壊に繋がる。
- ・家の造りが悪い。一人暮らしの為、利用したくない。(他 2 件) 介護を担ってくれる人がいない。
- ・まだどうも無いから利用したくない。その時の状況で判断したい。(他 1 名)
- ・介護者が何も出来ないの、近くの介護施設入所を希望。・利用したいが人手がない。
- ・父が昔ながらの器質、短気で「下の世話を自分で出来なくなったら死ぬ」と言っている。在宅医療に理解が得られるか心配。
- ・仕事が出来なくなり、経済的に苦しくなるから。

【在宅医療に関するその他のご意見】

- ・自宅での介護、治療が本人及び家族にとって精神的に最良と考える。・妻ががんであり利用したい。
- ・どうしても子どもの世話にならざるを得ないと、痛感している。
- ・一人で介護する事は大変。在宅医療を利用し自宅で看たい。
- ・一人暮らしの方で在宅医療を利用し旅立った話も耳にした。一人暮らしで、家族がいない場合でも在宅医療は可能なのか。

【マイライフノートに関するその他のご意見】

- ・現在、自分なりに伝えるべき事は子どもに伝えている。マイライフノートも活用し今後検討したい。
- ・興味はあるが、活用するかはわからない。いざという時の為親には、記入していて欲しい。